

令和4年度第1回十日町市地域公共交通活性化協議会議事録

日 時 令和4年8月23日(火) 午前10時30分～午前11時30分

会 場 十日町市医療福祉総合センター1階 講堂

出席者 委員

十日町市長	関口 芳史
越後交通(株)十日町営業所 営業所長	外山 幸一
南越後観光バス(株) 乗合営業部次長	武藤 文昭
東頸バス(株) 代表取締役専務	高橋 常雄
十日町地区タクシー協会 会長	高橋 等
東日本旅客鉄道(株) 十日町駅長	山口 勉
北越急行(株) 十日町駅長	村山 正樹
新潟県十日町地域振興局 地域整備部維持管理課長	宮 拓男
十日町警察署 交通課長	近藤 芳靖
十日町市地域自治組織連絡協議会 会長	川田 一幸
公募委員	高橋 知子
長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻 教授	佐野 可寸志
十日町市商工会連絡協議会 松代町商工会長	瀬沼 伸彦
十日町市老人クラブ連合会 女性部長	南雲 カツミ
新潟県立十日町高等学校PTA 会長	宮沢 徹也
新潟県立十日町病院 事務長	貝瀬 伸一
社会福祉法人十日町市社会福祉協議会 理事	佐藤 幸子
一般社団法人十日町市観光協会 副会長	桑原 清
新潟県交通運輸産業労働組合協議会 所員	倉澤 明里
国土交通省北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課長	玉巻 史成
国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官	島谷 尚之
新潟県十日町地域振興局 地域振興専門員	小田 亘

事務局

総務部長	金澤 克夫
建設部長	吉田 健一
総務部企画政策課長	田辺 貴雄
総務部企画政策課長補佐	渡辺 隆之
総務部企画政策課企画政策係長	酒井 潤

オブザーバー

川西支所地域振興課主事	中町 広章
中里支所地域振興課主査	大見 好行
松代支所地域振興課主査	山口 耕一郎
松之山支所地域振興主査	井川 勝博
(株)ケー・シー・エス北陸支社	永野 裕一

欠席者 委員

(有)東部タクシー 代表取締役社長	村山 達三
公募委員	金子 宏美
十日町商工会議所 共立観光(株)代表取締役	原田 千佳子
十日町市地域自立支援協議会 委員	数藤 いずみ

議 題 説明事項

- (1) 令和3年度の路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用状況について

協議事項

- (1) 十日町市地域公共交通計画策定に向けた各種調査について

その他

- (1) 越後交通グループによる令和4年10月1日からの運賃改定について

1. 開会

(事務局 田辺課長)

定刻となりましたので、これより「令和4年度第1回十日町市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。本日の司会進行を務めます企画政策課の田辺と申します。よろしくお願いいたします。

本日はご多用の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より当市の交通政策につきまして、ご理解ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

早速ですが、次第の「2挨拶」を関口十日町市長よりお願いします。

2. 挨拶

(関口市長)

本日は大変お忙しい中、令和4年度の第1回となります地域公共交通活性化協議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。残暑厳しい折、しかもコロナ禍ということでもありますので、ぜひご自愛いただければと思います。

さて、十日町市地域公共交通活性化協議会ですが、昨年度3月にキックオフを行いまして、今回が2回目の開催となります。全国的な大きな課題ですが、公共交通をどのように私たちの地域で維持していくかという課題があります。当協議会には交通事業者の皆様にもご参画いただいておりますが、タクシー、バス、鉄道など、それぞれの分野に課題があると認識しております。

特に、ここ最近の大きなニュースとして、JR東日本から利用の少ない線区の収支データが開示され、これを機に経営の観点からも地域の鉄道路線をどのようにしていくかという大きな課題があるわけがございます。また本市には、ほくほく線という大事な鉄道があり、私も地元を代表し、経営陣の一人として参加させていただいておりますが、大きな課題を抱えています。こうした中、我々には新たな取り組みを作らなければならないという大きな責務があります。高齢者の皆様の足、通学の足、そして観光などで本市を訪れていただく皆様の足など、様々な課題があります。そのことについて、皆様のお知恵をお借りし、しっかり協議をして、これからの処方箋を作るという、大事な会議でありますので、皆様にはご理解をいただきたいと思っております。

本日の協議会ですが、令和5年度の計画策定に向けた、様々な調査などについてご協議をいただく予定になっております。この調査により現在の公共交通の課題を浮き彫りにし、当市の公共交通の望ましい姿を構築する第一歩としていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。またご出席の皆様が所属する団体などにもヒアリング調査を行う予定ですので、是非ご協力をお願いいたします。

最後に本日の協議会が、委員の皆様の積極的なご参加と、活発なご意見を頂戴する中で、有意義なものになりますことをお願い申し上げます。私からの挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

3. 出席者紹介

(事務局 田辺課長)

ありがとうございました。続きまして、次第にはございませんが、役員交代、並びに人事異動等で2名の方に交代がございましたので、ご紹介をさせていただきます。お配りしています委員名簿をご覧くださいと思います。

No.19 新潟県立十日町高等学校 PTA の宮沢様、No.26 新潟県十日町地域振興局の小田様のお二方が前任の方より交代し、新たに委員となっていただきました。委員の任期は2年で、残任期間は令和5年3月31日までとなっております。どうぞよろしく願いいたします。

なお本日、委員名簿のNo.6 村山様、No.13 金子様、No.15 原田様、No.18 数藤様の4名が、ご欠席でございます。

また、去る3月に開催をいたしました設立総会において、所用でご欠席となりました当協議会の副会長である長岡技術科学大学教授の佐野様よりご挨拶をお願いいたします。

(佐野副会長)

皆さんこんにちは。長岡技術科学大学の佐野と申します。前回は欠席で誠に申し訳ございませんでした。私は新潟県内のさまざまな市町村で地域公共交通活性化協議会に参加させていただいております。各市町村で抱えている問題や熱量も違いますが、多種多様な方とお付き合いさせていただいています。十日町市の場合は面積も広く、鉄道が2本あるところが他市町村との大きな違いです。他にはない特徴がいろいろあると思いますので、その特徴を踏まえ、持続的な公共交通体系を作るのに少しお手伝いをさせていただければと思っています。皆さんよろしく願いいたします。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございました。それでは次第の「3 報告事項」から「5 その他」については十日町市地域交通活性化協議会規約第8条第1項に基づきまして、会長である関口十日町市長より議事進行をお願いいたします。

4. 報告事項

(1) 令和3年度の路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用状況について 資料1

(議長 関口市長)

それでは規約のとおり、しばらくの間、議事進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。お手元の次第に沿って議事を進行いたします。次第「3 報告事項」であります。令和3年度の路線バス、市営バス、予約型乗合タクシーの利用状況につきまして事務局より説明をお願いします。

(事務局 酒井係長) ※資料1に基づき説明

－省略－

(議長 関口市長)

ありがとうございました。今ほど説明のあった内容につきましてご質問、ご意見ございましたら挙手をお願いします。マイクをお持ちしますので、ご発言をお願いします。いかがでしょうか。

(佐野副会長)

市負担額とか全体では分かるのですが、1人あたりや1便あたりの収支率なども計算できると思います。そういった数値があると、今後何をすればいいのかが分かると思いますので、よろしくをお願いします。

(事務局 酒井係長)

ありがとうございました。今後資料などにつきましてはそういった形で皆さんからご覧いただけるようにしたいと思います。

－他に質問、意見なし－

5. 協議事項

(1) 十日町市地域公共交通計画策定に向けた各種調査について 資料2

(議長 関口市長)

続きまして、次第「4 協議事項」であります。十日町市地域公共交通計画の策定に向けた各種調査について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 酒井係長) ※資料2に基づき説明

－省略－

(議長 関口市長)

ありがとうございました。今ほど説明がありました内容についてご質問、ご意見のある方は挙手をお願いいたします。マイクを渡しますので、ご発言をお願いいたします。

(玉巻委員)

資料を拝見して、大変丁寧に整理されていると思いました。アンケートの内容で2点ほど申し上げると、アンケートの前に、誰のどのような交通を行政として確保していくのかということ、あらかじめ検討していただけるといいと思いました。

例えば、高校生の朝夕の通学というのは、最低限、行政として確保していくということ等、そのような点を明らかにした上でアンケートをすると、どのような地域の人たちが最低限の水準に達していないのか、何に困っているのか、そのような点も把握しやすくなると思います。

それに関連して、資料2-2を見ると、3で通院について尋ねていますが、困っている人をももう少し引き入れる設定にしてもいいと思いました。例えば通院で困っているときに、具体的にどのように困っているかを書こうと思うと、現状はその他の自由記述欄に書くしかないと思います。おそらく、この市民アンケートの想定回収率は2割程度だと思いますし、その上で自由記述欄への記載となると、もう少し回答率は下がると思うので、困っている人の声を取りづらくなってしまっていると思います。その辺りは改善の余地があると思います。以上の2点です。ありがとうございました。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。事務局からは何かありますか。

(事務局 酒井係長)

ありがとうございます。アンケートについては、本来であれば、現状などを捉えておくのがいいと思いますが、十日町市の地域公共交通計画はまだ策定していないので、今年度で市民の公共交通の利用実態をまずは把握したいと考えており、このような市民アンケートを設定しています。

また、ご意見の後段の設問については、委託会社の株式会社ケー・シー・エスから補足していただきたいと思います。

(株式会社ケー・シー・エス)

困っている部分の設問については、市と協議をしながら進めていきたいと思っています。なお、実際に乗っている方については、利用者アンケートを実施するので、そこからも把握は可能と考えています。

(議長 関口市長)

よろしいですか。それではそのような対応をしてもらいたいと思います。他にいかがでしょうか。

(佐野副会長)

先ほどの質問と似ているかもしれませんが、十日町市は公共交通計画をまだ策定していないので、とりあえず実態を知りたいというのは分かります。限られた予算で薄く広く聞いても、特徴がある回答もあるとは思いますが、バスがなくて困っているなど、おそらく他の市町村でも言われているような一般的な回答が多く、この調査をすることによって、新たに何か分かることを拾うのはなかなか難しいと思います。

実態調査をして、問題点を把握し、それに対応する施策を打つというのが順番ではあると思いますが、そうはいいつつも、ある程度の施策は念頭に置いて、その評価などの役に立つような、決め打ち的という言葉がよくないかもしれませんが、そのような視点も必要だと思います。例えば20ページにあるように、第2回の協議会で調査結果の取りまとめを踏まえ、交通施策の評価検証および路線別の評価から協議するとありますが、ここにはっきりするような取りまとめ結果が得られるような調査をしていただきたいです。危惧しているのは、割とどこでもされているような問題点が明らかになることです。例えば市民アンケートは、2000票の20パーセントで400票の回収を想定していますが、パーセントトリップ的にODまで把握しようというのは、かなり無理なことだと思うので、それぞれの調査の目的をしっかりと決めて進めていただければと思います。

(議長 関口市長)

ありがとうございました。事務局いかがですか。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございます。調査については事務局の中でもいろいろと悩んだところですが、副会長のご指摘のとおり、私もそのようなものが出るという思いもあったので、私たちも計画を踏まえて、市民がいかに利用しやすい公共交通になるかということを目的にアンケートを実施していきたいと思います。

例えば、資料2-2の4ページ目の、7の設問の、「今後の市内の公共交通について」というところで、具体的なイメージとして、どのようなことを利用者や一般市民が求めていたのかということ、なるべく具体的に分かるように踏み込んだところも一部ではあります。また、8のその他のところになると思いますが、この設問でご意見を拾えるようにしたいと思います。

(佐野副会長)

6や7は役に立ちそうな気はしますが、例えば20代、30代の人に免許返納のことを聞いても仕方がない気もします。18歳から85歳までの人にランダムに配るのがいいのか、特定の年齢以上の人に配るのがいいのか、その辺りも検討してもらいたいと思います。

(議長 関口市長)

事務局どうぞ。

(事務局 田辺課長)

副会長のご指摘のとおり、全年齢層を対象として調査をしようとしているので、ポイントは免許返納で、対象とならない年齢層が出てくるのは確かです。例えば高齢者向けとそうではない方向けに分けるのも含め、予算の関係もありますが、工夫ができるように検討していきたいと思えます。

(議長 関口市長)

よろしいですか。検討をよろしくお願いします。他はいかがですか。

(貝瀬委員)

細かい設問の内容になります。問 17 と問 18 の市内の公共交通について尋ねるところで、JR 飯山線、ほくほく線、路線バス、市営バス、予約型乗合タクシーとありますが、一般のタクシーはここに入らなくてもいいのですか。

(株式会社ケー・シー・エス)

タクシーについては、タクシー事業者にヒアリング等を行い、そこで概ねの状況を把握できるものと思えますので、ここでは想定しない方向で考えています。

(貝瀬委員)

分かりました。問 13 など、他の設問では一般のタクシーが出ているので、それとの整合性が問題だと思えます。タクシー会社にヒアリングするということもあります、目的が入っている、その辺りはどのように感じました。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございます。タクシーで病院に通われる高齢者もいらっしゃると思えます。選択肢が多くあると悩むかと思いましたが、ここにタクシーを入れることも踏まえて、対応したいと思えます。

(貝瀬委員)

分かりました。ありがとうございます。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(小田委員)

細かいところで申し訳ありません。問 26 で、今後、どのような公共交通が望ましいと思うかということで、望ましい順に三つ選べとあります。運賃、運行本数、利便性で、それぞれ一つずつ選んでいくということでしょうか。この文章では分かりにくいと思いました。

(事務局 酒井係長)

それぞれ一つずつというわけではなく、1 から 11 の中で望ましい順にということで予定しています。この辺りをもう少しわかりやすいように見直したいと思います。

(佐野副会長)

当然、皆様は、運賃を上げて構わないので、運行本数を多くしてほしいは選ばないと思います。皆様は、運賃は下げてほしいし、朝夕の運行本数を増やしてほしいし、目的地まで一つの交通手段で行けるようにしてほしいという、非常に理想的なものを選んでしまうような気がします。それが皆様の意見ということであれば、それを把握したいという意図ですか。

(事務局 酒井係長)

運賃、本数、利便性とそれぞれあり、どのような視点で市民が望まれているかを把握したいと思い、このような選択肢を設けています。

(佐野副会長)

分かりました。ありがとうございます。

(議長 関口市長)

事務局はこれで大丈夫ですか。

(事務局 田辺課長)

実は7の運賃の、1番のところは簡略化して、現在よりも運賃を下げてほしいと分かりやすく書いたつもりでした。当初は、運行本数は少なくなってもいいので、運賃は下げてもらいたいという長い文章を選択肢として作ったのですが、それではなく、このような短い文章にしたために、質問としては分かりづらくなってしまいました。言葉を付け加えた形で、悩まないように、また1から11の中での優先順位ということで選びやすいように、工夫して調整します。

(議長 関口市長)

そのようにお願いします。他の皆様はいかがでしょうか。

(佐野副会長)

それについては、運賃などについて最もよいものをそれぞれ回答するほうが分かりやすいし、そちらのほうが役に立つのではないですか。例えば三つのうちで、最もよいものを選んでいただくというほうがまだ分かりやすいし、有効な情報が得られる気がします。ご検討ください。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございます。運賃は運賃の中で、運行本数は運行本数の中で選んでいただくという選択の仕方ということですか。

(佐野副会長)

はい。

(事務局 田辺課長)

はい、かしこまりました。そこも含めて、分かりやすく、またアンケート結果も参考になるような形の集計ができるようにこちらも調整してまいりたいと思います。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(桑原委員)

私は観光協会として出席していますが、公共交通というのは地域住民のための公共交通であるわけです。観光地を持っている十日町市であるので、そこへのアクセスはもちろん公共交通機関で、それにプラスαで2次交通があるといわれていると思います。住民の利用量をまず把握した中で、併せて、観光客の皆様のアクセスをどのようにしていくかということが最終的な観点になります。その辺りも併せて考えていく必要もあると思いますので、まずはアンケート結果の最終的な段階で、そのようなことを併せて考えていただけるとありがたいと思います。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。ご要望ということで、ぜひ事務局でこの件についてもしっかりと意識しながら、進めていただきたいと思います。よろしいですか。他はいかがですか。

(佐野副会長)

観光協会の方は少し控えめに言っていましたが、もう少し積極的に、観光客にアンケートを採ることも含めて、頑張っていただけるといいと思います。また観光客の需要と一般の需要は違うと思うので、車の空いた時間に使えるなど、全体的にコストが下がるということもあり得ると思います。ぜひ積極的に進めてもらえればと思います。

(議長 関口市長)

事務局はいいですか。

(事務局 田辺課長)

確かに公共交通、生活交通が主ではありますが、観光の面も当然、網羅しなければと思っています。例えば2次交通もそうですし、また観光客が来たときに、すぐにスマートフォンで分かるような情報発信など、さまざまな工夫があると思うので、先進地を参考にしながら、アンケートも含めて、取り組んでいきたいと考えています。

(議長 関口市長)

ありがとうございました。他はいかがですか。よろしいですか。多くのご意見やご質問をいただきました。それらを反映し、アンケートなど各種調査を進めていきたいという事務局の答弁もありました。それではそれを受けて、議決に移ります。協議事項である十日町市地域公共交通計画の策定に向けた各種調査について、賛成の方は挙手をお願いします。

—挙手多数—

ありがとうございました。賛成多数と認めました。それでは計画策定に向けた各種調査をこのような形で進めていきたいと思います。よろしくをお願いします。

6. その他

(1) 越後交通グループによる令和4年10月1日からの運賃改定について

(議長 関口市長)

続きまして次第の「5 その他」でございます。令和4年10月1日からの運賃改定について、越後交通外山委員よりご説明をお願いいたします。

(外山委員)

今ほどご紹介いただきました、越後交通十日町営業所の外山と申します。次第にあります越後交通グループ、越後交通株式会社ならびに南越後観光バス株式会社における、10月1日からの運賃改定についてご説明させていただきます。まず運賃改定という根本でございますが、国から認可されている範囲の中で低額に抑えていた、中距離、長距離の利用運賃を中心に見直

しをさせていただくということであります。運賃の見直しというのが正確な表現ですのでよろしくをお願いします。

見直しの理由としましては、一番は燃料の高騰による経営の圧迫です。その他、タイヤなどの備品も全て値上がりの対象になっており、その現状を踏まえて、10月1日から運賃の見直しをさせていただくこととなりました。

いくつか例を申し上げますと、本町から長岡駅まで現状810円の運賃が10月1日以降になると120円値上がりし、930円になります。同じく本町から津南町役場まで現状440円の運賃が60円値上がりし、500円になります。その他の区間の運賃については、各営業所までお問合せいただければと思います。平均アップ率としては越後交通株式会社が9.8%、南越後観光バス株式会社が6.8%程度の運賃見直しとなります。

なお、各市町村より受託しているコミュニティバスや高速バスについては、今回の見直しに該当しておりません。また、初乗り運賃も変更はございません。

ご理解いただき、また路線バスをご利用いただきますようよろしくお願いいたします。説明は以上です。

(議長 関口市長)

ありがとうございました。それではこの件につきまして、ご質問、ご意見等ありましたら挙手をお願いします。

ー質問、意見なしー

ないようですので、次に進みます。本日の報告事項・協議事項はすべて終了いたしました。が、改めて委員の皆様からご意見等あればせっかくの機会でもありますので、ご発言をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(佐野副会長)

生活交通という話がありましたが、先ほど報告あった高速バスや長岡、新潟など遠方への交通も視野に入れて考えていただいてもいいのかなと思います。

(議長 関口市長)

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

ー他に質問、意見なしー

ないようですので、議事は以上で終了とさせていただきます。

ご質問やご意見、お気づきの点がございましたら、後日でも結構ですので、事務局までお気軽にご連絡をいただければと思います。

今日は誠にありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

(事務局 田辺課長)

ありがとうございました。皆様長時間にわたり大変ありがとうございました。それでは最後に事務局の総務部長、金澤より閉会のご挨拶を申し上げます。

(事務局 金澤部長)

総務部の金澤と申します。閉会にあたり一言申し上げます。令和2年からのコロナ禍で人々の価値観が大きく変わり、テレワーク、地方回帰の流れも出てきたところであります。これまでの昭和、平成の延長ではなく未来に向けた持続可能な計画となるよう今後とも委員各位のご協力をお願いいたします。それでは以上をもちまして、閉会といたします。本日はありがとうございました。

閉会 午前11時30分